

無痛分娩に使用する麻酔薬の供給について

無痛分娩で一般的に使用される局所麻酔薬アナペインが、現在世界的に不足しています。

原因は製薬会社が製造工場を移転した際、製品に不良が出たために、出荷が完全に停止されており、現在も再開のめどが立っていないのです。そのため今使用しているのは、市場に出回っているものだけとなっています。

当院でも市場にあるだけのものをできるだけ確保し、また代替品についても模索、検討を重ねておりますが、代替薬品も軒並み不足状態となっており、アナペインの製造再開まで、この状況は続くことが予測されます。またこのままでは数ヶ月先には大学病院や日赤病院等の大きな病院の手術部門においても、主要な麻酔薬として使われているアナペインが現在の5割から2割程度に供給量が減少する予定です。また、いつ工場再開のめどが立つのかに関しては、製造元の薬品会社も不明とのことであります。

当院でもアナペイン及び代替薬品について、可能な限り確保を続けておりましたが、将来的にご迷惑をおかけすることも考えられます。またこれから無痛分娩を申し込まれる方々に関しましては、分娩予定日ごろにこの状況が改善していないと、十分な効果のある無痛分娩をご提供できなくなる可能性もあり、現在ご迷惑をおかけしないで済む方法をできる限り模索しております。

また、生産や市場状況の動向に変化がある場合には、わかり次第お知らせする予定です。

ご心配をおかけして申し訳ありません。

令和6年7月2日

井樋病院

院長 井樋邦雄

